



瑞中だより

学校だより 第12号
令和6年1月12日
瑞穂町立瑞穂中学校
〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1
TEL 042-557-0070

「辰」「竜・龍」「金」願いを込めて 未来をそうぞうしよう

校長 池谷 芳彦

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

平成から令和へと変わって5度目の新春を迎えました。

14日間の冬休みが終わり、本日から第3学期が始まりました。3学期は、まとめの学期です。

年明け早々に、能登半島では大地震、羽田空港では航空機事故と大変なことになっていますが、せめて身近なところでは、震災はもちろん大きな事故や事件が起きないことを願うばかりです。

さて、3年生の皆さんは自分自身の卒業後の進路を決める大切な時を迎えます。志望校への合格を目標に頑張っていることと思います。しかし、これからの長い人生の中で、入試は通過点です。受験勉強の合間に上級学校での生活はもちろんですが、3年後の自分や、5年後、さらにもう少し先の未来の自分の姿を思い描いてみましょう。そのための勉強です。

2年生の皆さんは、2学期の後半から3年生の後を引き継いで、生徒会活動や部活動など様々な活動の中心として頑張ってきました。そして、3か月後にはいよいよ最上級生＝「瑞中の顔」となります。そのために、3学期にどんな準備が必要か、また、ポストコロナを見すえ何をしなくてはいけないかを考え、実践してみましょう。

1年生の皆さんは、あと3か月で先輩と呼ばれる立場になります。一人一人、どのような先輩になりたいのか考え、イメージしてみましょう。いつまでも小学生みたいだね「小学8年生!」などと言われないようにしましょう。そして、そのために何をしなくてはいけないかに気付き、自分の頭で考え、自分で決めて行動してみましょう。

今年2024年(令和6年)は「辰年」です。

「辰」という漢字は「蜃(しん、はまぐり)」の原字で、二枚貝が足を出して動いている形態を表しており、肉片などが動くという意味があるそうです。辰は「ふるう、ととのう」を意味する「振」で、陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態を表すと解釈されています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているの、十二支の5番目に、草木の形がととのった様子を表す「辰」がきます。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だといわれています。また、たつ(竜、龍)は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権勢に大きく関わる年といわれています。龍は強さの象徴、吉祥を呼ぶとされます。そして、キーワードは変革や転機、激動です。社会的にも大きな出来事が起こると予想されますが、これまでの「努力が実って、夢や希望が叶いやすい年」になる、という願いを込めたいと思います。

もう一つ、2024年の今年の漢字を予想してみます。それは「金」。理由はオリンピックイヤーであることに加え、7月に新デザインの紙幣(お金)が発行されるからです。これまでも年頭に年末の今年の漢字を予想しましたが、当たったことは一度もありません。どうなるでしょうか?

皆さんも年のはじめに新たな目標を立てると同時に、未来のことを悲観するのではなく、ぜひプラス思考で予想してみてください。頭の中で想像が膨み、明るく前向きになれば、モチベーションを維持しやすくなると思います。



【 1/9(火) 3学期始業式 体育館にて(全校) 】



式前の発声練習



校歌斉唱(熱唱)



校長講話

【 各学年 学期始めの学年集会の様子 】

【第3学年】

卒業後の進路に向けて、気を引き締めて過ごしていこうとのお話がありました。



【第2学年】

3学期は新しいことへのチャレンジと、4月から最上級学年になるための、準備の期間であるとお話がありました。



【第1学年】各クラスの学級委員による2学期の成果と課題、3学期の抱負について

1-1の発表

1-2の発表

1-3の発表

1-4の発表

1-7の発表



【校内研修 授業の様子】 1/10(水)



【避難訓練の様子】 1/11(木)



◆ご案内◆

◆第62回 西多摩中学校美術展◆

日時：令和6年1月19日(金)～1月21日(日)
午前10時～午後6時(最終日は午後5時まで)

場所：イオンモール日の出・2階イオンホール
(JR五日市 武蔵引田駅下車徒歩10分)

内容：絵画・デザイン・立体作品 他

参加校：西多摩地区の中学校
(西多摩郡・羽村市・あきる野市)

◆第73回東京都公立学校美術展覧会◆

日時：令和6年2月14日(水)～2月18日(日)
午前9時30分～午後5時30分

(入場は午後5時まで)

最終日は正午まで(入場は11時30分まで)

場所：東京都美術館(JR上野駅(公園口)徒歩7分)
内容：小・中・義務教育学校・中等教育学校・高等学校
・特別支援学校の児童生徒の作品
中学校は美術・書写・技術・家庭の作品